

## 2025年度 群馬支部活動計画

### 活動目標「地域に根ざした新しい発達支援・心理支援」

#### 《基本方針》

一般社団法人日本臨床発達心理士会群馬支部」では、これまで一貫して「ぐんま」という地域に根ざした地道な発達支援・心理支援を目指し活動していきます。

一般県民向けの公開研修会などを通じ、県内でもある程度認知され、一定の地位を確保しつつあると考えています。新しい法人の支部として再出発しましたが、これまでの活動を踏襲し、より一層活性化していくべく、取り組んでいきたいと思えます。

コロナウイルスへの対応は、大きな転換期となりました。前後して、全国各地で様々な自然災害が猛威を奮っています。機構や心理士会としても、危機管理や災害支援に関しては会員への直接のほか、必要に応じて何らかの支援に取り組むべく、考えています。県内では大きな災害は起きていませんが、できる準備はしておく必要があると考えます。

また、昨年度も取り上げましたが、国連の障害者権利委員会から出された日本の特別支援教育システムについての要請は大きな反響を呼び、様々な議論が起きています。真のインクルーシブな教育とは何かを問い直す機運が高まっていると感じています。インクルーシブ教育システムは単に「学校教育」に限った問題ではなく、就学前後の時期も含めた時間の流れの中で、心理士として大きな視点から考えていくことも必要でしょう。

そのような社会情勢の変化の中、臨床発達心理士の活動をより主体的なものにすることを目指して新たに法人格を取得しました。単に名称が変わっただけでなく、社会の中でより積極的に役割を担うことが期待される、と考えます。個々の会員の専門性の向上を目指す職能団体として、益々充実した活動が求められてきています。新しい群馬支部としても、「ぐんま」という地域に根ざした地道な発達支援・心理支援を目指し活動してきました。

25年度も、対面での研修で学びを深めていきたいと思えます。法人化したことも踏まえ、社会的なアピールをどう進めるかなど、検討していくことも必要です。

群馬支部らしい、地域に根差した活動を模索していきたいと考えています。

より充実した活動に向けて、多くの支部会員の方の力をお借りしながら、群馬支部の活動を活性化させていきたいと思えます。基本は、個々の会員がそれぞれの場で力を発揮することだと考えています。そして、その力を集めることで支部活動が豊かになっていくことを目指したいと思えます。

今後とも、支部活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

#### 《総会》

日 時 5月24日(土) 13:00~13:30 (受付 12:30~)

会 場 共愛学園前橋国際大学短期大学部 501 号室他

《資格更新研修会総会》

○日 時 5月24日(土) 13:45～17:00 (受付 13:30～、休憩時間含む)

テーマ 「学童期の多職種連携～困っている子を支える～」

話題提供 加藤達也氏(群馬県教育委員会) 小学校の現場に期待すること

シンポジスト 関口幾久男氏(伊勢崎市学習生活指導員) 小学校の現状

鈴木知美氏(群馬県スクールカウンセラー) 支援の現状

若菜妙子氏(群馬整肢療護園) テスターとしての視点

○第7回アセスメント研修会

テーマ 検査報告書の書き方・伝え方ワークショップ

日 時 2025年11月15日(土) 13:30～16:45 (13:00～受付)

会 場 共愛学園前橋国際大学 短期大学部 501 号室

講 師 竹渕香織氏(聖学院大学)

補助講師 佐藤雅次氏(渋川市通級指導教室)

亀田良一氏(利根沼田子ども発達支援センターリズム)